

【参考】

北陸新幹線の県内整備効果（概要）

（概数で表記しており、前項までの数値と一致しない部分がある）

【前提条件】 東京～長野～福井まで開業 【参考】敦賀まで開業

- ①交流人口の変化 ⇒ 福井県と沿線等地域間で、人口（平成30年）と所要時間（新幹線の時間短縮）の変化により、開業後の流動を予測
- ②経済波及効果 ⇒ 建設投資や県内への流入数増加により、経済波及効果（県内生産額の増加額）を予測
「新幹線建設自体による効果」と「開業後の県内への流入数増加による効果」

数値は概数であり、端数で合計は一致しない。

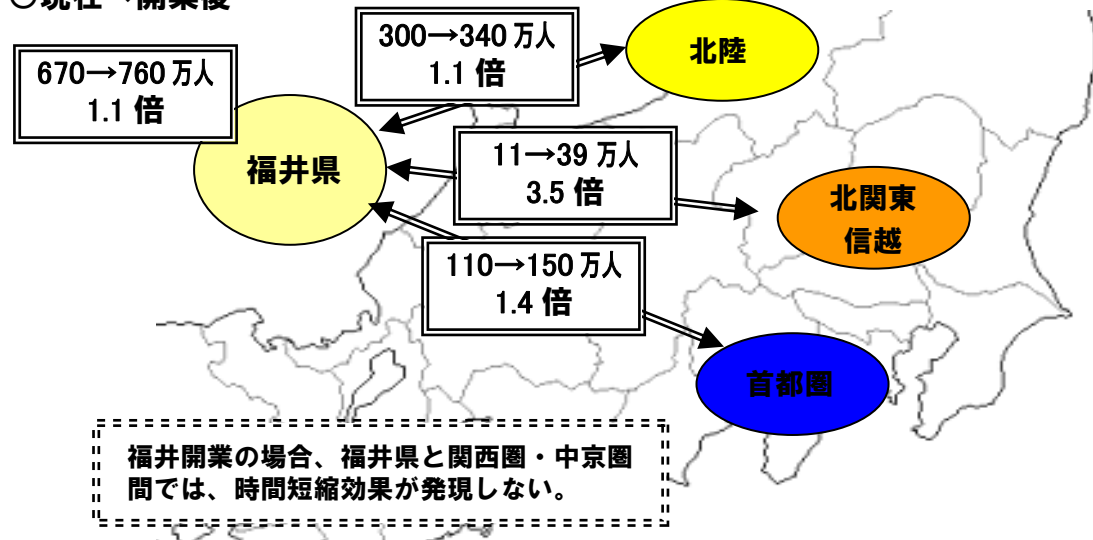
①交流人口の変化

福井開業

交流人口は、90万人増加して1.1倍

平成17年度全国幹線旅客純流動調査

○現在→開業後



②経済波及効果

- ・建設投資
- ・県内流入数増加

県内の関連産業に波及して、原材料等の生産や、雇用者の所得、消費増を誘発（県内生産額が増加）

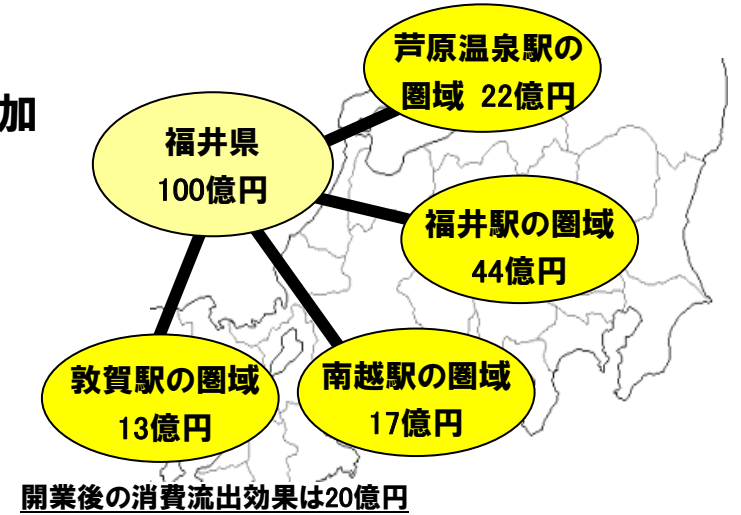
福井開業

建設投資：国土交通省試算。平成15年価格
用地費除く

建設段階 2,500億円 開業後年間 100億円

建設投資 1,500億円
流入数 50万人(消費)増加

福井県

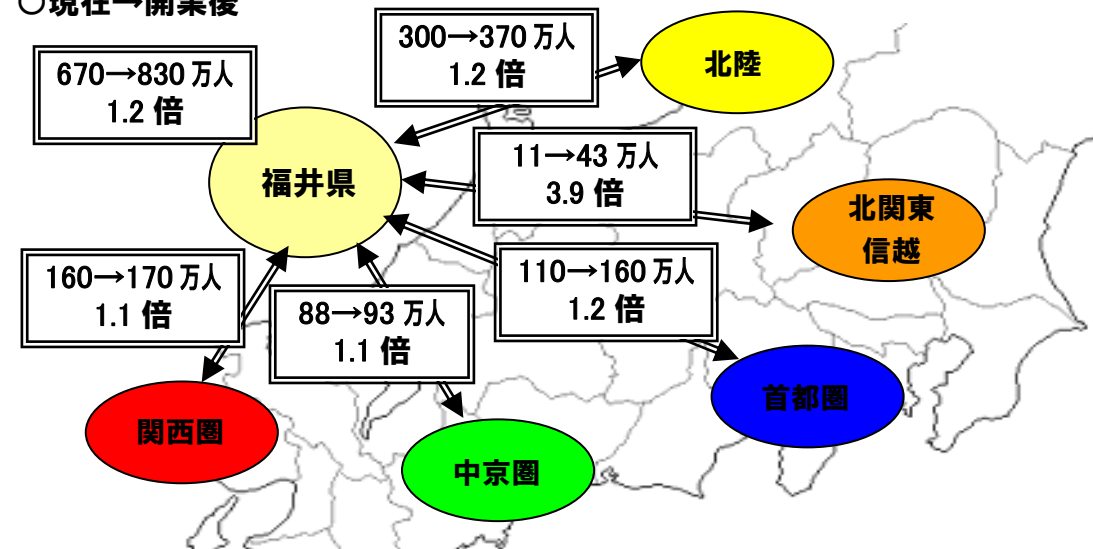


【参考】福井～敦賀間が整備され、敦賀開業の場合

前提は福井開業と同様

交流人口は、160万人増加して1.2倍

○現在→開業後



建設段階 7,400億円 開業後年間 175億円

建設投資 4,600億円
流入数 90万人(消費)増加

福井県

